

# としょかん つうしん

## 1月号

1月号は「しぜん」です。身の回りにある草や木、景色のようすなどをじっと観察してみると、おもしろい発見に出会うことがありますね。そんな楽しみを絵本でも見つけてみませんか。



### 「ふゆめがっしょうだん」

年少向け

富成忠夫写真 茂木透写真 長新太文  
福音館書店

うさぎやコアラ、帽子をかぶった子どもの顔、じつはどれも木の芽の冬のようなようすを大きくした写真です。その表情は、笑顔だったりちょっとおこった顔、無表情にも見え、さむい冬をがまんして春のおとずれを待っているようです。写真とともにのせてある心地よい文章が楽しい。木の観察としても興味ぶかい絵本です。



### 「しずくのぼうけん」

年中向け

マリア・テルリコフスカさく ボフダン・ブテンコえ  
福音館書店

ある日バケツから飛びだした水のしずくは、よごれを落とすための旅にでます。じょうはつしたり、落っこちたり、こおったり、流れたり自然の力によっていろいろな冒険をくりかえします。さまざまな技法をつかって描かれた絵が印象的で、お子さんにも水の性質がわかるようにやさしい言葉でつづられています。



### 「秋は林をぬけて」

年長向け

小泉るみ子作・絵  
ポプラ社

女の子は、秋になるといつもの道からそれて林をぬけて帰ります。林の中で目にする豊かなみのり、カラフルな風景、秋の大自然がひとつひとつ丁寧に色あざやかに描かれ、見なれない私たちには草の海、炭鉱の灯、雪虫などの景色がとても新鮮に感じられます。自然とともに暮らす北海道での生活を描いた絵本です。